



■第5回 日本小児麻酔学会教育セミナー

●日時：2025年2月9日（日）9：50～17：10

●会場：TKP 市ヶ谷カンファレンスセンターホール 3F

〒162-0844 東京都新宿区市谷八幡町 8

●開催形式：ハイブリッド開催（現地＋WEB）＋後日オンデマンド配信

●テーマ：小児麻酔のトラブルシューティング

●代表世話人：釜田 峰都（埼玉医科大学国際医療センター 麻酔科）

●参加費：日本小児麻酔学会会員 2,000 円/非会員 5,000 円/初期研修医 無料

●参加登録：日本小児麻酔学会ホームページより申し込む

<https://jspedanes.smoosy.atlas.jp/ja>

●問合せ先：日本小児麻酔学会事務局

E-mail：jspa-ad@ped-anesth.com

■ひとこと

ついに記念すべき第5回を迎えた日本小児麻酔学会教育セミナー、テーマは「小児麻酔のトラブルシューティング」です。小児麻酔関連の話題はLiSAでも頻繁に取り上げられ、多くの方が小児麻酔を身近に感じていることでしょう。綿密な麻酔計画、完璧な準備。それでもトラブルは起こります。「なんでこんなことに…」トラブルで手術室が混乱しているとき、自信をもってコマンダーとなり、周りに指示が出せますか？「みんな落ち着いて！まずは●●、次に▲▲をやってください」。セミナー受講後はきっとそう言えます。教育講演では前回アンケートで要望の多かったテーマも取り上げています。WEBでのライブ配信＋後日オンデマンド配信も予定しておりますが、現地参加大歓迎！ふるってご参加ください。（釜田 峰都）

■プログラム

ケースカンファレンス

①喘息・風邪症状を有する患者での覚醒、抜管、術後鎮痛のコツ、②異なる職種から見る術中神経モニタリング異常

教育講演

①喉頭痙攣、②アナフィラキシー、③大量出血、④Fontan手術～困ったときの工夫、⑤新生児・乳児の神経ブロック、⑥小児のレミゾラム使用経験

■麻酔科医向け J-MELS ベーシックコース

（第4回日本周産期麻酔科学会学術集会ハンズオンセミナー）

●日時：2025年3月22日（土）

①8：30～12：10、②13：15～16：55（①、②ともに同じ内容）

●会場：東京大学 学術交流棟 小島ホール

●受講対象：第4回日本周産期麻酔科学会学術集会に参加の麻酔科医

●人数：24名（①、②各12名）、先着順

●参加登録：日本周産期麻酔科学会学術集会 参加登録画面より申し込む

<https://4th-japa.jp/participation/>

●受講料：10,000円〔別途コース登録料（認定料含む）3,000円〕

●テキスト：『J-CIMELS 公認講習会ベーシックコーステキスト 産婦人科必修 母体急変時の初期対応』（第3版）4,800円（税別）メディカ出版

●そのほか：受講決定後（2月中旬目処）に、J-CIMELS ホームページからのコース登録について案内メールを送信予定

●問合せ先：日本母体救命システム普及協議会

E-mail：jcimels@gmail.com

■ひとこと

第4回日本周産期麻酔科学会学術集会において、麻酔科医向けにカスタマイズされたJ-MELS ベーシックコースを開催します。本コースでは主に周産期医療従事者が、母体急変時の初期対応「京都プロトコル2020」を中心に、急変への気づき、母体急変対応について、座学やスキル実習、シミュレーションを通して学びます（2022～2024年の日本臨床麻酔学会や日本周産期麻酔科学会で開催したのと同じ内容です）。産科麻酔について学ぶコースではありません。安全な周産期医療のためには、全身管理や帝王切開の麻酔などの場面で麻酔科医の力が必要です。本コースは、周産期の麻酔にかかわっている麻酔科医にとって母体急変の病態を知る機会になることはもちろんですが、インストラクターや受講者との情報交換も有意義なものとなるはずです。（狩谷 伸享）

*「掲示板」は、学会やセミナー、新製品、同窓会、求人などの情報提供を行うコーナーです。掲載は無料ですので、下記E-mail、FAXなどで情報をお寄せください。その際、情報提供者からのメッセージを「ひとこと」（1～400字）として必ず添付してください。

なお、掲載の可否、決定、校正は編集部にご一任いただきます（「ひとこと」が面白いもの優先）。

E-mail：lisa@medsi.co.jp

FAX. 03-5804-6054